

林野庁プレスリリース(7月)

- 第22回日中農産物貿易協議会の結果(7/2)
- 平成20年度における独立行政法人森林総合研究所の水源林造成事業評価委員会の地元等意見聴取の実施(7/3)
- 平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した大規模な山腹崩壊等における直轄治山災害関連緊急事業等の実施について(7/4)
- 「森林に関する国際的な議論の動向」報告会の開催及び傍聴募集(7/8)
- 第2回林政審議会施策部会森林整備保全小委員会の開催及び一般傍聴(7/10)
- 林政審議会施策部会の開催及び一般傍聴(7/10)
- 第3回「間伐材チップの紙製品への利用促進に係る意見交換会」の開催(7/11)
- 第32回世界遺産委員会における知床世界自然遺産地域の保全状況に関する審査の結果(7/14)
- 林政審議会の開催及び一般傍聴(7/14)
- 森林農地整備センター(旧緑資源機構)の入札監視のための委員会(7/17)
- 第3回「間伐材チップの紙製品への利用促進に係る意見交換会」の概要(7/17)
- 平成20年度における独立行政法人森林総合研究所の第2回水源林造成事業評価委員会の開催(7/18)
- 平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した大規模な山腹崩壊等における災害関連緊急治山等事業(補助)の実施(7/23)
- 第2回林政審議会施策部会森林整備保全小委員会の概要(7/24)
- 林政審議会施策部会の概要(7/25)
- 林政審議会の概要(7/25)
- 「森林に関する国際的な議論の動向」報告会の概要(7/29)

林野 RINYA 8月号 No.17

平成20年8月15日発行

発行●林野庁

〒100-8952 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

電話 03-3502-8111(代) FAX 03-3591-6505

編集●camp damian

東京都足立区千住東2-21-25-413

印刷●松尾印刷株式会社

東京都港区虎ノ門5-8-12

<http://www.rinya.maff.go.jp/>

林野庁 一口メモ

子ども霞が関見学デー

今年も東京都霞ヶ関において「子ども霞が関見学デー」が、8月20日から21日の2日間開催されます。「子ども霞が関見学デー」とは、各府省庁における業務の説明や省内見学等とおし、親子のふれあいを深め、社会体験活動の機会とするとともに、府省庁等の施策に対する理解を深めてもらうことを目的としたイベントです。林野庁では「子ども霞が関木工教室」を開き、子どもたちから小枝を使ったキーホルダーや、自ら丸太を切りコースターを作成してもらいます。また、「美しい森林づくり推進国民運動」「木づかい運動」のパネル展示やビデオを上映し施策紹介も行います。実際に木に触れることで、木の持つ温かさや工作の楽しさを感じてもらえばと思います。体験学習の場として、また夏休みの思い出づくりに、多くの子どもたちの来場をお待ちしております。

林野庁「子ども霞が関木工教室」

開催日時：平成20年8月20日(水)・21日(木)

両日とも10:00～16:00

開催場所：東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

農林水産省本館 7階講堂

受付場所：開催日当日10:00～15:45

農林水産省本館 正面玄関にて

問い合わせ先：林野庁林政課渉外広報班 03-3502-8111

※「子ども霞が関見学デー」に関する詳細内容はこちらです。
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/07/08070703.htm



昨年の丸太切りの様子

編集後記

夏休みで賑わう静岡県伊豆市の天城山自然休養林。そこに天城山太郎杉という一本の巨木がある。国有林にある、次世代への財産として残すべき巨木を選ぶ「森の巨人たち100選」にも選ばれるこの杉は樹齢400年以上、伊豆随一の巨木だ。その巨木を見ていた小学校高学年くらいの男の子と父親の会話が聞こえてきた。

「この木はいつから植わっているの?」

「江戸時代が始まった頃かな」

この会話から、森は野外教室なんだと思っただけで、森を知ることで歴史を知ることが出来る。ほかに、本数の計算や木の漢字を知るなど様々な学びの場や、親子の会話を促進する場にもなる。実に素敵な場所だ。こんな場所が増えて欲しい、と思えてならない。